

1 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

(1) 受賞団体

一般財団法人春日若宮おん祭保存会

(2) 対象となる活動

春日若宮おん祭（国指定重要無形民俗文化財）の保存・継承

(3) プロフィール

春日若宮おん祭は春日大社の摂社若宮神社の祭礼で、12月15日の大宿所詣、16日の宵宮祭、17日未明の遷幸の儀からはじまって昼にお渡し式があり、興福寺南大門交名の儀、松の下式、御旅所祭、遷幸の儀と続き、18日の後宴能で終わります。関白藤原忠通の時代、保延2（1136）年9月17日にはじまったとされ、古くは9月17日の祭礼でした。

室町期からは原則的に11月27日となり、近世まで興福寺の主導によって祭礼が維持されています。明治以後は春日大社の祭礼として現行の12月17日に定まりました。ハイライトは12月17日の御旅所祭です。春日大社の摂社である若宮神が遷られた御旅所へ芸能をする人々が正午よりお渡しをし、神楽・東遊・田楽・細男・神楽式・和舞・舞楽といった古代・中世の代表的な芸能が深夜まで御旅所で若宮に奉納されます。日本の古い伝統芸能を集約したような芸能尽くしの祭礼です。



2 地域伝統芸能大賞 支援賞

(1) 受賞者

丸尾 万次郎氏

(2) 対象となる活動

舞楽面・菩薩面・能面の製作

(3) プロフィール

丸尾 万次郎氏（昭和14年生まれ）は能面師として面打ちをはじめて48年続けています。春日大社や當麻寺をはじめとした伝統芸能に使用される多数の能面や舞楽面を作り、県内の民俗芸能の伝承に対して尽力し、大きな貢献を果たしてきました。昭和57年より自宅工房で能面教室を開催しており、後継者の育成にも熱心であります。

昭和62年に舞楽面「綾切」4面をはじめ、平成2年「蘭陵王」、平成3年「崑崙八仙」「貴徳」、平成7年「納曾利」、平成16年「還城楽」のように春日大社で行われる舞楽の面を制作し、さらに平成8年から12年までは當麻寺の聖衆来迎練供養会式に使用される26の様々な菩薩面を製作するなど、県内の文化財指定されている伝統芸能の様々な面を作り続けてきました。また黒川能（山形県鶴岡市）の能面等の製作も手掛けています。

